
産業用誘導モータ「スーパープレミアム効率 IE4 シリーズ」の初号機を出荷

- 国内初の IE4 効率対応で工場・プラントの省エネ化やCO₂排出量削減に貢献 -

東芝三菱電機産業システム株式会社（以下、TMEIC）（社長：川口 章）は、自己始動形誘導モータ「スーパープレミアム効率 IE4^{*1}シリーズ（以下、IE4 シリーズ、出力：75～375kW）」の初号機（6極、出力：132kW）を2023年9月に出荷しました。「IE4 シリーズ」は自己始動形誘導モータとして国内初となる最高効率 IE4 基準を達成しており、工場・プラントの省エネ化や CO₂ 排出量削減を通じてカーボンニュートラル実現に大きく貢献します。

カーボンニュートラル社会の実現に向け、EUでは2023年7月から産業用誘導モータ（出力：75～200kW）の効率規制がIE3からIE4基準に引き上げられ、国内においても、産業用モータの効率を規制するトップランナー制度のIE4基準への改正協議が開始されるなど、国内外でモータ高効率化のニーズが高まっています^{*2}。

今回、TMEICが出荷した「IE4シリーズ」第1号機（6極、出力：132kW）は、既設モータ（IE1相当、当社比）と比較すると、発生損失を約40%低減し、年間電気料金は約60万円、年間CO₂排出量は約12ton削減でき^{*3}、既設モータの更新をはじめ、工場・プラントのカーボンニュートラル化への貢献が期待できます。

今回の「IE4シリーズ」の詳細は、2023年3月30日発表のプレスリリースをご参照ください。

URL: https://www.tmeic.co.jp/news_event/pressrelease/2023/20230330.pdf

執行役員 回転機システム事業部長 岩永 英樹 コメント：

「今般、お客様の省エネ化およびCO₂排出量削減ニーズを見据え、産業用中大容量モータのトップメーカーとして、高効率規制の改正前に業界各社に先行して『IE4シリーズ』をラインアップし、市場投入しました。TMEICの取り組みが、各分野の省エネ/省資源化の裾野を拡げ、カーボンニュートラル社会実現に向け高効率製品をいち早く提供できるよう努めてまいります。」

*1: 2015年4月からモータの高効率化を義務付けるトップランナー制度が開始されました。効率をIE(International Energy-efficiency Classの略)コード(IE1～IE4)でクラス分けしており、規格 IEC60034-30-1で規定されています。

*2: エネルギーの使用の合理化に関する法律「省エネ法」が改正され、平成22年4月1日に施行され、同法が指定する「特定事業者」に対しては年平均1パーセント以上の省エネルギーを行うことが義務付けられています。

*3: 365日、24時間、100%負荷連続運転、電力料金22円/kWh、CO₂換算基準 電気事業者別排出係数0.441ton/MWh(R5.1.24 環境省・経済産業省公表代替値)の条件

■「IE4シリーズ」初号機

定格出力: 132kW、6極、回転速度: 990min⁻¹、効率試験値: 96.3%
フランジ取付脚付フレーム



報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <https://www.tmeic.co.jp/>
〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEiC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。